

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、課題を分析および考察したものをもとに、今後の本校の教育活動についてお知らせ致します。

◇調査結果◇ ※全国平均のポイントよりも 高い項目○ 低い項目●  
A問題 基礎知識を問う問題から B問題 活用力を問う問題から

国語

A問題から

- 漢字を読む。
- 目的や意図に応じて書く事柄を整理する。
- 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する。

B問題から

- 意図や目的に応じて、グラフを基に自分の考えを書く。
- 目的に応じて複数の本や文章などを選んで読む、比べて読むなど効果的な読み方を工夫する。
- 目的に応じて、質問したいことを整理する。
- グラフを基に分かったことを的確に書く。

算数

A問題から

- 除法における計算の確かめの方法を理解している。
- 三角形の底辺と高さの関係について理解している。
- 割合を百分率で表す場合において基準量と比較量の関係を理解している。
- 小数の加法・除法の計算ができる。

B問題から

- 正方形に内接する円の半径について理解している。
- 単位量当たりの大きさを求めるためにほかに必要な情報を判断し、特定することができる。
- 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる。

質問紙調査(学習・生活環境のアンケート)

- 平日、学校の授業時間以外に1時間以上の勉強をしている・自分で計画を立てて勉強している児童は約6割強で、全国平均と比べて3ポイントほど上回っている。
- 家で学校の授業の復習をしていると答えた児童は6割弱で、全国平均と比べて2ポイント上回っている。
- 授業の中で分からないことがあってもそのままにしないと答えた児童は、9割強で全国平均並である。
- 特に国語の勉強が好きだと答えた児童が6割強で、全国平均を7ポイントほど上回っている。
- 自分にはよいところがあると感じている児童は約5割に留まり、全国平均より22ポイント下回っている。
- 予習・復習やテスト勉強などの自学自習で、教科書を活用していると答えた児童は、約5割に留まり、全国平均より13ポイント下回っている。
- 授業の中で友達と話し合う活動で、内容を理解し、考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと感じている児童は、約6割で全国平均より14ポイント下回っている。

以上の事項を踏まえた本校の課題

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着と予習・復習を兼ねた自主学習を位置付けた家庭学習の工夫
- ・発言の場を意図的に位置付けた話し合い活動の充実を図り、考えを深めることができるための授業改善
- ・自分の思いを聞き手にうまく伝えたり、自分の考えを整理して書いたりする力の育成
- ・自分の良さを認識し、自己肯定感を感じながら向上していこうとする心の育成

◇学校として力を入れたいこと

- ・基礎的、基本的な知識・技能の習得を大切にした授業終末の定着時間の確保と学期末に実施する「みのりチャレンジ」等による見届けを徹底する。
- ・話し合い活動を大切にした授業づくりと根拠をもとに自分の言葉で書き留める文章記述によるまとめを大切にする。
- ・根拠を明確に考えを整理しながら話す機会を計画的に位置付ける。(授業での発言、話し合い活動、児童集会)
- ・諸行事の活動のねらいを児童と共有し、やり遂げた価値付けを積み重ねていく指導を継続し、自己肯定感を養うとともに家庭との連携を充実させる。(一日の振り返りノートの見届け、学級・学年通信の充実、HPの活用)
- ・家庭学習(自主学習)の内容として下学年の既習内容を含めた復習と学び直しを計画的に取り入れる。(つまずきの見られる学習内容の重点的な復習、ノート記述の振り返り、【家庭学習の手引き】の活用)

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・生活リズムを整え、前向きな気持ちで学校生活を送ることができるための体と心づくりを心がける。(早寝早起き・朝ご飯・団らん)
- ・学習時間の確保と学習の見届けを大切にする。(ノートの点検、励ましの声かけ)
- ・やりきったこと、乗り越えたこと、小さな成功体験の価値付けを意識する。(通信や学校たよりの活用)